

2021年2月15日

National Center for Global Health and Medicine

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

国際医療協力局

**【オブザーバー聴講のご案内】****オンラインコース****2020年度 国際保健課題別講座****「保健医療人材開発：理論と実践」**

開講日時：2021年2月27日（土）9:30 - 16:00

**Microsoft Teams によるオンライン講義とグループワーク**

受講料：7,000円 ※学生3,500円

**※事前登録をお願いします。※報道関係の皆さまのオブザーバー聴講は、無料です。**

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（略称：NCGM）国際医療協力局は、2021年2月27日（土）9:30 から 16:00 まで、2020年度 国際保健課題別講座「保健医療人材開発：理論と実践」を開催します。



NCGM はグローバル医療戦略の一つとして、グローバル人材の育成を掲げており、国際医療協力局にはグローバルヘルスの潮流をリードできる人材を養成することが期待されています。これまで、広い視野を持ち、それぞれの立場や職責において貢献ができ、グローバルに活躍できる日本人保健医療人材の育成に向けて、様々な研修事業を行ってきました。



国際保健課題別講座は、国際保健に関する研修のアドバンスコースとして、2018年度から開講しており、2020年度は少人数のオンライン講座として開講します。今回のテーマは、「保健医療人材開発：理論と実践」です。昨今のグローバルヘルスの潮流として、持続可能な開発目標（SDGs）の達成が重要なテーマとなっています。ヘルス（健康）に関するSDGsのGoal3のターゲットの一つは「保健従事者の採用、能力開発・訓練、および定着を大幅に拡大させる」となっており、保健人材開発はSDGs達成に向けて重要テーマの一つとなっています。

保健医療サービスの需要に対応するためには、保健医療人材の数を増やすと同時に、サービスの質を担保するシステムを構築することが重要です。保健人材を養成し、適切に配置、定着させていくことは、質の保証された保健サービスを持続的に提供していく上で重要で、これらを改善課題とする国際医療協力も実施されています。しかし、実際の国際協力の現場では、保健人材開発の政策や戦略を策定する上で不可欠な人材関連データの欠如など、さまざまな困難に直面します。

今回の講座では、国際保健医療協力で「保健人材開発」に取り組む際のコセ方を紹介します。

具体的には、保健人材開発に関する世界的な潮流や、指標の設定、モニタリングの難しさなどの課題、保健人材開発システム分析モデル「ハウスモデル」の概要、保健人材開発を担う政府の役割について説明します。また、保健人材開発に取り組む国際協力の事例を通して、協力活動の進め方について考えていただきます。

本講座では、講義と演習を通じて受講者が学んだ考え方を自らが取り組むプロジェクトに応用できるようになることを目標としています。国際保健、国際協力に関する業務、研究、教育などに携わったことのある方、または今後携わる予定の方のご参加をお待ちしています。

2020年度 国際保健課題別講座「保健医療人材」の開催概要は、以下の通りです。

# 2020 年度 国際保健課題別講座

## 保健医療人材開発：理論と実践

### ■開催概要

開講日時：2021年2月27日（土）9:30～16:00

形式：Microsoft Teams によるオンライン講義とグループワーク

講師：国際医療協力局 永井 真理、井上 信明（モンゴルより参加予定）、馬場 俊明、袖野 美穂

プログラム：

1. 開校式
2. 講義
  - ①保健人材開発の課題と世界的潮流
  - ②保健人材開発とハウスモデル
3. 質疑応答
4. グループワーク
  - ◎中低所得国における効果的な保健人材開発支援計画立案の枠組みを学ぶ
5. 事例紹介・まとめ
6. 修了式

### ■オブザーバー聴講にあたって：

事前登録：下記アドレスに「国際保健課題別講座 保健医療人材：理論と実践」と明記し、

- ① 所属（会社名・媒体名・部署名）
- ② お名前
- ③ Email

をご記入いただき、**2月24日（水）まで**にお送りください。

Teams の招待メールを発行させていただきます。

**E-mail : koho@it.ncgm.go.jp**

※受講するために必要なパソコン、タブレット、スマートフォンなど通信機器、通信回線はご自身でご用意ください。

※推奨環境 【OS】 Windows、Mac 推奨

※ただし、最新版 Microsoft Teams が対応しているかを事前にご確認下さい。スマートフォンの場合、グループワークの際に、ファイルの編集ができない可能性があります。

【ソフトウェア】各 OS に対応した最新版の Microsoft Teams

<https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/microsoft-teams/download-app>

※報道関係の皆さまのオブザーバー聴講は、無料です。

聴講をご希望の場合は、以下担当あてに、メールでご一報ください。

- ・修了証書は発行されません。
- ・グループワーク以降のプログラムへの参加はできません。

## 【NCGM 国際医療協力局について】

NCGM 国際医療協力局は、保健医療分野における日本を代表する国際保健医療協力機関です。厚生労働省や外務省、独立行政法人 国際協力機構（JICA）、世界保健機関（WHO）などと連携しながら、低中所得国の医療や保健衛生の向上を図るための支援を行っています。その一環として、グローバルに活躍できる保健医療人材の育成を目的に、国内外に向けにさまざまな講座や研修を提供しています。

### ★本件に関するお問い合わせ先

---

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）

国際医療協力局 広報情報課

昆 弘人（こん ひろと）

TEL : 03-3202-7181（代表）内線：2744、PHS：5525

E-mail : [koho@it.ncgm.go.jp](mailto:koho@it.ncgm.go.jp)